

施工前にこの施工説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
施工後は、お客様へご使用方法を十分ご説明のうえ、この施工説明書と取扱説明書をお客様へお渡しください。

安全上のご注意

施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

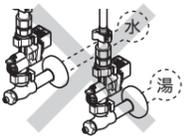
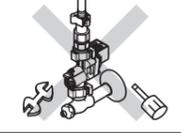
警告 「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。

注意 「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

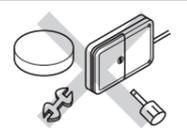
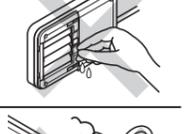
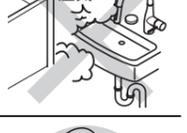
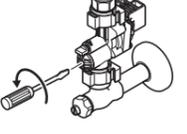
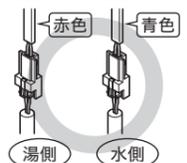
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容です。	 「分解禁止」の内容です。
 「接触禁止」の内容です。	 「水場使用禁止」の内容です。
 必ず実行していただく「強制」の内容です。	

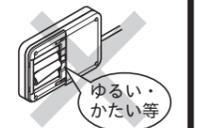
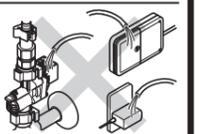
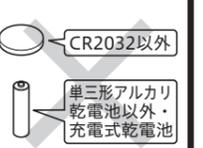
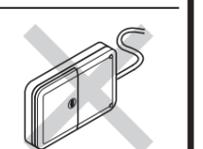
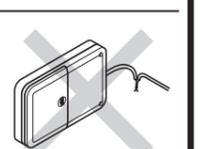
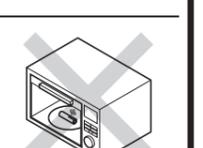
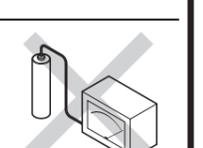
警告

 湯水を逆に配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。 必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。	
 給湯温度は80℃より高温で使用しないでください。 給湯器の給湯温度は60℃以下の設定をおすすめします。 80℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品のとりはずし等の改造はしないでください。 故障や感電の原因になります。 また、器具が破損し、やけど・けがをしたり漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や医療機器の近くで作動させないでください。 自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器のメーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。なお、この製品はBluetooth®無線技術を使用した機器に該当し、出力は2.4GHz帯、0.15V/m以下です。	

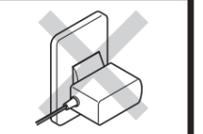
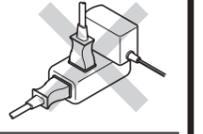
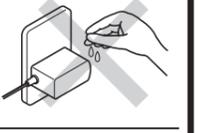
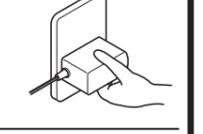
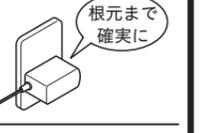
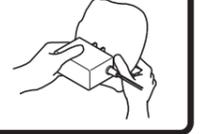
警告

 分解したり、修理・改造はしないでください。 火災や感電の原因になります。	
 電池を分解したり、加工・改造はしないでください。 漏電・破裂・火災・故障の原因になります。	
 濡れた手で電池を交換しないでください。 感電の原因になります。	
 浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。 故障や感電のおそれがあります。	
 水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。 部品の内部腐食により、漏水、発火、ショート、感電、動作不良の原因になります。	
 ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側止水弁および湯側電磁弁ユニットが熱くないことを確認してください。 高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
 制御ボックスは水がかからない場所に設置してください。 火災や感電の原因になります。	
 湯側は赤色、水側は青色のコードのコネクターを接続してください。 湯側・水側を誤って接続すると、湯が先に出てやけどをするおそれがあります。	

警告

 乾電池の取り付けがゆるい場合や、かたい場合は使用しないでください。 火災や感電の原因になります。	
 電磁弁ユニット、配線接続部、電池ボックス、ACアダプター(別売)には水をかけないでください。 火災や感電の原因になります。	
 指定する電源(コイン電池 CR2032・単三形アルカリ乾電池)以外では使用しないでください。 また、充電式乾電池は使用しないでください。 火災の原因になります。 充電式乾電池を使用した場合、使用可能な期間が短くなります。	
 ACアダプター(別売)やコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加熱したりするようなことはしないでください。 感電・ショート・火災の原因になります。	
 コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。 感電・ショート・火災の原因になります。	
 電池を水の中に入れてください。 感電・ショート・火災の原因になります。	
 電池を加熱したり、火中に投げ入れないでください。 火災の原因になります。	
 電池を充電しないでください。 火災や故障の原因になります。	

警告

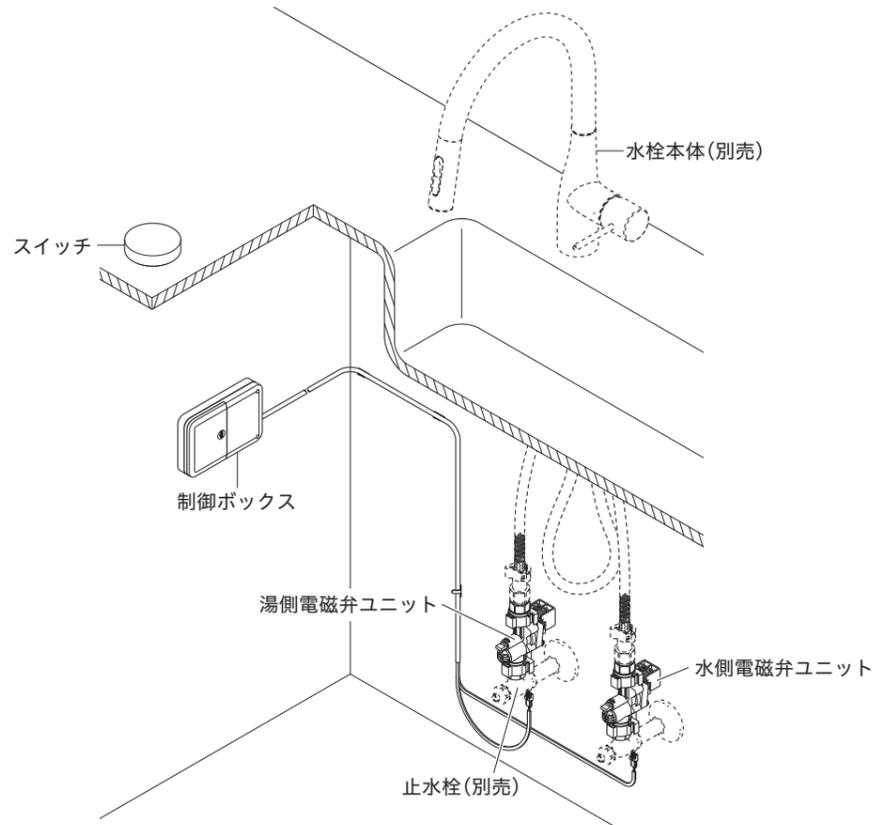
 ACアダプター(別売)をお使いの場合がたついているコンセントは使わないでください。 火災や感電の原因になります。	
 ACアダプター(別売)をお使いの場合指定する電源(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。 火災の原因になります。	
 ACアダプター(別売)をお使いの場合コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。 たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。	
 ACアダプター(別売)をお使いの場合濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。 感電の原因になります。	
 ACアダプター(別売)をお使いの場合雷が発生しているときは、ACアダプターに触れないでください。 感電の原因になります。	
 ACアダプター(別売)をお使いの場合ACアダプターを抜くときは、必ず本体を持って引き抜いてください。 コードを引っぱるとACアダプターやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。	
 ACアダプター(別売)をお使いの場合ACアダプターは根元まで確実に差し込んでください。 火災や感電の原因になります。	
 ACアダプター(別売)をお使いの場合ACアダプターの刃などに付いたほこりは取り除き、根元まで確実に差し込んでください。 火災や感電の原因になります。 ACアダプターを抜いて、乾いた布で拭いてください。	

⚠ 注意

<p>禁止</p> <p>スイッチや制御ボックスに強い力や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。</p>	
<p>禁止</p> <p>電磁弁ユニットに強い力や衝撃を与えないでください。故障や誤作動の原因となり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>禁止</p> <p>トイレ用洗剤・住宅用洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・トイレ用ウェットティッシュ・クレンザー・クレゾールを使用しないでください。発火・ショート・感電・故障の原因となります。</p>	
<p>禁止</p> <p>配管接続部をテーパねじに接続しないでください。テーパねじに接続すると、接続がゆるんだり、パッキンが切れたりして、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>禁止</p> <p>屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。器具が破損して、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>禁止</p> <p>傷つきやすい金属面には取り付けしないでください。取付面を傷つける原因になります。</p>	
<p>必ず実行</p> <p>止水栓取り付け箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にしてください。点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	
<p>必ず実行</p> <p>電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。漏液した電池は使用しないでください。漏れた液をきれいに拭き取らないと、故障の原因になります。</p>	
<p>必ず実行</p> <p>電池は直射日光・高温多湿を避けて保管してください。湿度が高いと電池に露(水分)が付き、ショートすることがあります。また、高温下に長い間放置すると性能が低下します。</p>	

※その他、水栓本体の取り扱いに関する注意事項は、水栓本体の説明書をご参照ください。
5 ページ

1 取り付け完成図と各部の名称



6 ページ

2 取り付け前に

●本製品は日本国内のキッチン・洗面でのみご使用いただけます。それ以外の条件下には設置しないでください。

使用電源	制御部 DC6V アルカリ乾電池 (単三形×4本) スイッチ DC3V コイン電池 (CR2032)
使用流体	1~80°Cの水道水および飲用可能な井戸水 (氷結・ゴミ等の混入が無いこと)
使用環境	温度 0~40°C (ただし内部の水を凍結させないでください。) 湿度 90%以下
給水圧力	最低必要水圧: 0.05MPa (動水圧) 最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
消費電力	待機時 0.1W以下 [ACアダプター(別売)使用時] 使用時 1.0W以下
制御部コード長さ	1.0m
電池寿命	100回/日の使用頻度として約2年 使用環境によって電池寿命は変動します
通信方式	Bluetooth® (2.4GHz)

※同梱されている電池は動作確認用です。お早めに新しい電池に交換してください。

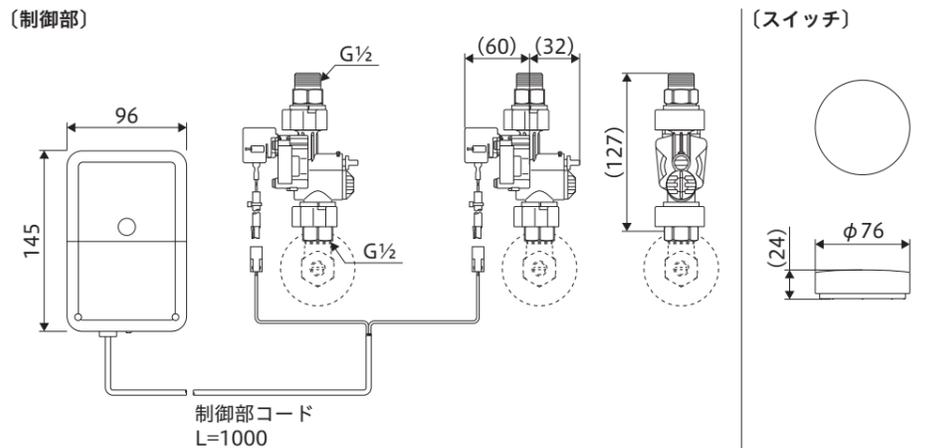
- ① 使用水圧 (A = (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
(給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A + 0.05MPa (動水圧)、最高水圧: 0.75MPa (静水圧)
- ② 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給水圧力が0.3MPaから0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ④ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑤ やけど防止のため、給湯器の給湯温度は60°C以下の設定をおすすめします。
- ⑥ 給湯機からの配管は抵抗を少なくするため、最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑦ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑧ 取り付け後の流量調節や手動弁操作・保守点検のために、必ず止水栓を取り付けてください。
- ⑨ 使い勝手や性能発揮のため、流量調節をしてください。特に水圧が高い場合など、流量調節がされていないと、漏水・破損のおそれがあります。
- ⑩ 取り付け後、手動弁操作や水抜き操作のため、必ず点検口を付けてください。
- ⑪ 本製品は、改造(構成する部品以外の取り付けや部品のはずし)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑫ 水道水および飲用可能な井戸水を使用してください。
- ⑬ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。
- ⑭ インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。
- ⑮ スイッチと制御ボックスの間に電波を通しにくい障害物がある場合は、動作しない場合があります。
- ⑯ 食器洗い機や整水器など連続給水が必要な機器を取り付ける場合は、電磁弁ユニットの前(上流側)に分岐金具を取り付けてください。
- ⑰ スイッチや制御ボックスの設置場所によっては、電波を受信しにくいことがあります。固定前に動作を確認してください。

ACアダプター(別売)をお使いの場合

- ⑱ 万が一の危険防止のため、電源の一時側に1か所漏電遮断器を設置してください。
- ⑲ 電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
- ⑳ コンセントはACアダプターの定期的なお手入れが行えるような位置に設けてください。

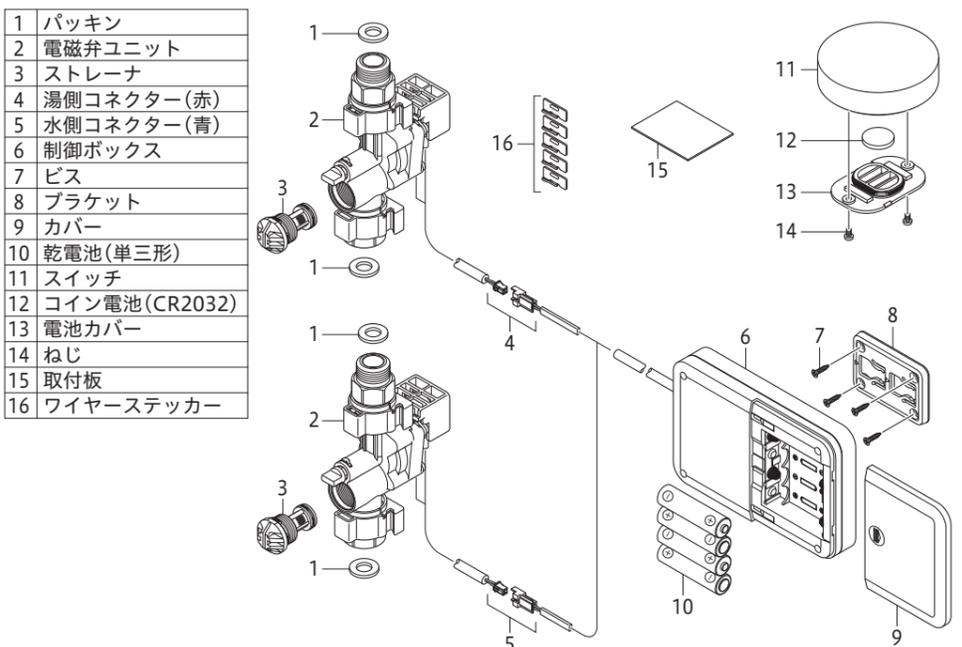
7 ページ

3 寸法図



4 分解図 (部品の形状は仕様により異なります)

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



8 ページ

405792-00

5 取り付け手順 1

1 シリアルNoの確認

制御ボックスとスイッチに貼られているシールを確認し、同じシリアルNoが記載されているか確認してください。

(シール記載内容)

シリアルNo記載位置(右上)

2 給水管内の清掃

配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。

3 止水栓(別売)の取り付け

新規設置の場合

止水栓はお使いになる水栓の止水栓取付位置より**約130mm低い位置**に取り付けてください。電磁弁ユニットを取り付けることで給湯・給水管の接続位置が上がり、場合によっては取り付けできないことがあります。止水栓の位置を低くできない場合は、別売の角度ジョイント(Z423140)やフレキホース(V50EP-100等)を電磁弁ユニットに取り付け、給湯・給水ホースが折れ曲がれないようにしてください。給湯・給水管の長さは水栓本体の施工説明書をご参照ください。※湯側・水側止水栓の間隔(A寸法)は変更ありません。(ただし、最低100mmは確保してください)

既設配管に取り付ける場合

既設の止水栓から水栓のジョイント(給湯・給水管)を取りはずします。(お使いの水栓によりはし方が異なります。お使いの水栓の施工説明書を参照いただき、取り付け方法の逆の手順で取りはずしてください。)

警告 ジョイントの取りはずしは、止水弁で必ず止水してから行ってください。ジョイントをいきなりはずしますと高温の湯が噴き出してやけどをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

電磁弁ユニットに別売の角度ジョイント(Z423140)やフレキホース(V50EP-100等)を取り付け、給湯・給水ホースが折れ曲がらないようにしてください。

4 水栓本体(別売)の取り付け (新規設置の場合)

水栓の取り付けは、お使いになる水栓の施工説明書をご確認ください。

5 電磁弁ユニットの取り付け

湯側止水栓・水側止水栓にそれぞれ電磁弁ユニットを取り付けます。止水栓と電磁弁ユニットの間に本製品に同梱されているパッキンを挟み、電磁弁ユニットを手で保持しながら下側のナットを工具で締め付けて固定します。

注意

- 接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- 止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないと電磁弁ユニットが抜け、漏水の原因となります。
- 食器洗浄機など連続吐水が必要な機器を取り付ける場合は、止水栓と電磁弁ユニットの間から分岐してください。電磁弁ユニットより上から分岐するとスイッチ操作により断水される場合があります。

【お願い】 パッキンは必ず本製品に同梱されているパッキンを使用してください。

【分岐する場合】

電磁弁ユニットと止水栓の間で分岐する

6 給湯・給水管の接続

電磁弁ユニットに給湯管・給水管を接続します。接続方法はお使いになる水栓の施工説明書をご確認ください。本製品に同梱されているパッキンを電磁弁ユニットとジョイントの間に挟み、接続するジョイントを工具で保持しながら、電磁弁ユニットの上側の六角部を工具で締め付け固定します。

注意

- 接続は適切な工具(スパナ等)で締め付けてください。締め付けトルクはお使いになる水栓の施工説明書等をご確認ください。締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- 止水栓がしっかり固定されていることを確認してください。固定されていないとブレッドホースが抜け、漏水の原因となります。
- 薄肉の接続管(ニップル等)にはジョイントを接続しないでください。パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【お願い】 パッキンは必ず本製品に同梱されているパッキンを使用してください。

イラストはKVK製

7 シャワーホースの接続 (ホース引出式の水栓と合わせてお使いの場合)

シャワーホースの接続方法は、お使いになる水栓の施工説明書をご確認ください。

5 取り付け手順 2

8 制御ボックスの取り付け

① 制御ボックスの取り付け位置を仮決めします。下記の条件を満たす場所であることを確認してください。

- 板厚が10mm以上ある
- 乾電池の交換ができるスペースがある(A図)
- 制御ボックスコードのコネクターが無理なく接続できる
- 電波が正常に受信できる
- [引出式キャビネットをご使用の場合] 引出や引出の中のもの干渉しない

※制御ボックスは横向きに取り付けてください。

注意

- 側板など強度がある場所に取り付けてください。制御ボックスが脱落し、故障の原因になります。
- 制御ボックスコードを背板や側板にはわせた時、無理なく届く範囲で、底板(棚板)より高く水がかからない位置に取り付けてください。断線や感電のおそれがあります。
- 乾電池の交換が行えるよう、できるだけキャビネットの手前に設置してください。
- インバーターや赤外線を用いた機器(電子レンジ等)の近くに設置した場合、誤作動の原因となるおそれがあります。
- スイッチと制御ボックスの間に金属など電波を通しにくい障害物があつたり、周囲が金属で囲われるような場所に設置した場合、作動しない場合があります。
- DCジャックが上にならないように設置してください。結露などの水滴がコードを伝いDCジャックに付着するおそれがあります。

② ブラケットを制御ボックスからはずし、ビスで側板に固定します。ブラケットの△が向く方向に電池ボックスのカバーがスライドします。

③ ブラケットに制御ボックスを取り付けます。ブラケットと制御ボックス裏面の△が同じ向きになるように、カチッと音が出るまでスライドしてください。

②-1 スライドさせてははずす

②-2 固定

③ 取り付け

△が向く方向に電池ボックスのカバーがスライド

カバーがスライド方向

△が同じ向きになるようにはめる

ビス(4か所)

電池ボックス裏面

9 コネクターの接続

湯側・水側の電磁弁ユニットのコネクター(2か所)を接続します。湯側電磁弁ユニットには赤色のコード、水側電磁弁ユニットには青色のコードのコネクターをそれぞれ接続してください。

警告 湯側・水側のコネクターは逆に接続しないでください。湯水を逆に接続すると、湯が先に出てやけどをするおそれがあります。

【お願い】 各接続部は確実に差し込み、ねじったり引っ張ったりしないでください。各接続部および配線部が断線するおそれがあります。コネクターは「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

10 制御ボックスコードの固定

キャビネットの背板や側板にワイヤーステッカーを取り付けます。ワイヤーステッカーを少し広げ、コードを挟み込むようにして取り付け、壁に固定します。※ワイヤーステッカーは5個同梱していますので、必要に応じて固定してください。制御ボックスコードは床に付かないように壁に固定してください。

注意 コード類とブレッドホース・シャワーホース等が接触したり絡んだりしないようにしてください。また、引出式キャビネットをご使用の場合、引出のレールにコード類が挟まらないようにしてください。発火・ショート・感電の原因になります。

引出の中のものにコードが絡まらないよう側板の上方に固定し、コードはたるませないでください。

ワイヤーステッカー

挟み込む

ワイヤーステッカー

制御ボックスコード

レール

湯側電磁弁ユニット

通水部や高温部(湯側電磁弁ユニット)に触れないように固定してください。

5 取り付け手順 3

11 電池の取り付け

制御ボックス

- ① 制御ボックスのカバーを 部を押しながらスライドさせて開きます。
- ② 制御ボックスに同梱の単三形アルカリ乾電池 4 本を入れます。
- ③ 制御ボックスのカバーを閉めます。

【お願い】 乾電池の方向は制御ボックス内の表示に合わせてください。

電池ボックス
カバー
① 開く
② 表示に合わせて入れる
③ 閉める

スイッチ

- ① スイッチの電池カバーのねじ(2か所)をはずします。
- ② 切り欠き部に精密ドライバーを差し込み、電池カバーを開けます。
- ③ スイッチに同梱のコイン電池(CR2032)を入れます。
- ④ 電池カバーをしっかりと押し込んで、ねじ(2か所)で固定します。

【お願い】 ・電池は+-の表示に注意して、正しい方向で入れてください。
・CR2032以外の電池は使用しないでください。
・電池カバーをしっかりと押し込んで、ねじ(2か所)で固定します。

【お願い】 ・スイッチ内に水が入らないように注意してください。
・電池カバーは浮きがないようにしっかりと押し込み、ねじは必ず2本共締めてください。
・スイッチ内に水が入るおそれがあります。
・ねじは締め過ぎないでください。破損するおそれがあります。

ねじ(2か所)
① はずす
電池カバー
② あげる
切り欠き部
差し込む
コイン電池(CR2032)
③ 入れる
④-1 はめる
④-2 しめる

13ページ

12 スイッチの取り付け (取り付け位置については、お客様とご相談ください)

- ① 右図の取り付け例を参考にスイッチの取り付け位置を決めます。

【お願い】 ・設置場所によっては電波を受信しにくいことがあります。スイッチを固定する前に、正常に作動するか確認してください。
・スイッチは制御ボックスから半径3m以内の範囲に取り付けてください。

●取り付け例

壁面
カウンター上
カウンター前

⚠ 注意

- ・スイッチは落下しないように必ず固定してご使用ください。落下すると、スイッチが破損するおそれがあります。
- ・インバーターや赤外線を用いた機器(電子レンジ等)の近くに設置した場合、誤作動の原因となるおそれがあります。
- ・スイッチと制御ボックスの間に金属など電波を通しにくい障害物があったり、周囲が金属で囲われるような場所に設置した場合、作動しない場合があります。

- ② 取付場所に磁石が付くか確認してください。磁石が付かない場合は、取付板の剥離紙をはがし、取付場所に貼り付けてください。
- ③ 取付場所(または取付板)にスイッチを取り付けます。

【取付場所に磁石が付かない場合】

取付板
剥離紙
②-1 はがす
スイッチ
③ 取り付け
【取付場所に磁石が付かない場合】
取付板
②-2 貼り付け

14ページ

5 取り付け手順 4

13 ACアダプター(別売)を使用する場合

仕様 ※本製品には同梱されていません。下記の部品を別途お求めください。

品番	Z422711
電源	AC100V 50/60Hz
コード長さ	1.8m

取り付け方法

- ① ACアダプターのDCプラグと制御ボックスのDCジャックを接続します。
※制御ボックスに乾電池が入っている場合、停電時などに予備電源としてお使いいただけます。乾電池が入っていない場合は、停電時にはボタンで吐水・止水はできなくなります。

制御ボックス
DCジャック
DCプラグ
① 差し込む
ACアダプター

- ② キャビネットの背板にワイヤーステッカーでACアダプターコードを固定します。
※ACアダプターコードは床に付かないように壁に固定してください。

【注意】 コード類とブレードホース・シャワーホース等が接触したり絡んだりしないようにしてください。また、引出式キャビネットをご使用の場合、引出のレールにコード類が挟まらないようにしてください。発火・ショート・感電の原因になります。

引出の中のものにコードが絡まらないよう側板の上方に固定し、コードはたるませないでください。

ワイヤーステッカー
ACアダプターコード

結露などの水滴がコードを伝わりACアダプターコードの接続部に付着しないように、コードが各接続部より下方に垂れるように固定してください。

ACアダプターコードが通水部や高温部(湯側電磁弁ユニット)に触れないように固定してください。

- ③ ACアダプターをコンセントに差し込んでください。

ACアダプター

15ページ

6 取り付け後の点検と清掃 1

6-1 操作性の確認

キャビネットの引出し操作性確認 (引出式キャビネットをご使用の場合)

【注意】 水栓取り付け後、キャビネットの引出しを開閉し、制御ボックスやコード類が引出し等と干渉したり絡まったりしていないことを確認してください。確認しないと、断線の原因になり発火・ショート・感電のおそれがあります。

水栓のシャワーヘッド引き出し確認 (ホース引出式の水栓をご使用の場合)

【注意】 水栓取り付け後、水栓本体のシャワーヘッドを数回引き出し、シャワーホースが止水栓やコード類と干渉したり、絡まったりすることなく、スムーズに動くことを確認してください。確認しないと、コード類が断線し、発火・ショート・感電の原因になったり、シャワーホースから漏水し家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

16ページ

405792-00

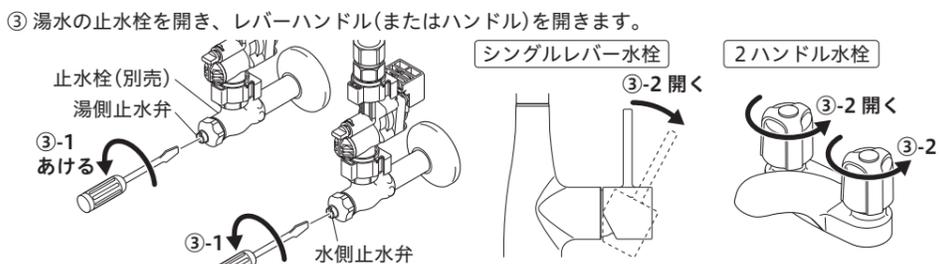
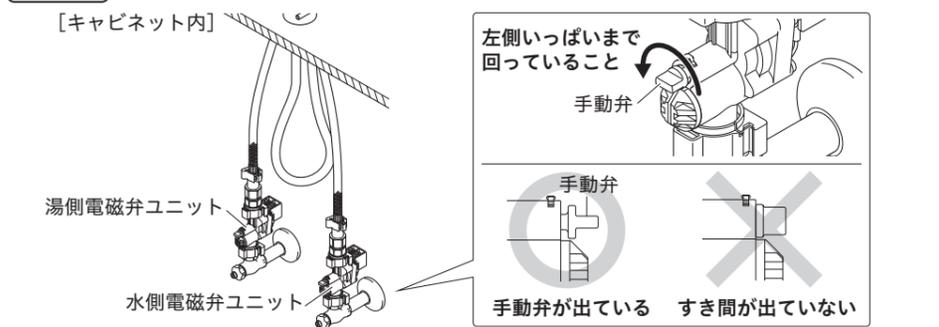
6 取り付け後の点検と清掃 2

6-2 通水確認

注意 水栓取り付け後、通水して湯水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① スイッチと制御ボックスに電池が正しく取り付けられていること(ACアダプターで使用する場合は、ACアダプターが正しく差し込まれていること)を確認します。
- ② 湯水電磁弁ユニットの手动弁(2か所)が左側いっぱいまで回っていること(手动弁が出ていること)を確認します。

注意 手动弁は工具を使わず手でゆっくりと操作してください。



- ③ 湯水の止水栓を開き、レバーハンドル(またはハンドル)を開きます。

- ④ スイッチを押して吐水・止水を確認してください。スイッチを押すと、吐水・止水が切り替わります。
※湯側・水側ともに給湯・給水されているか確認してください。



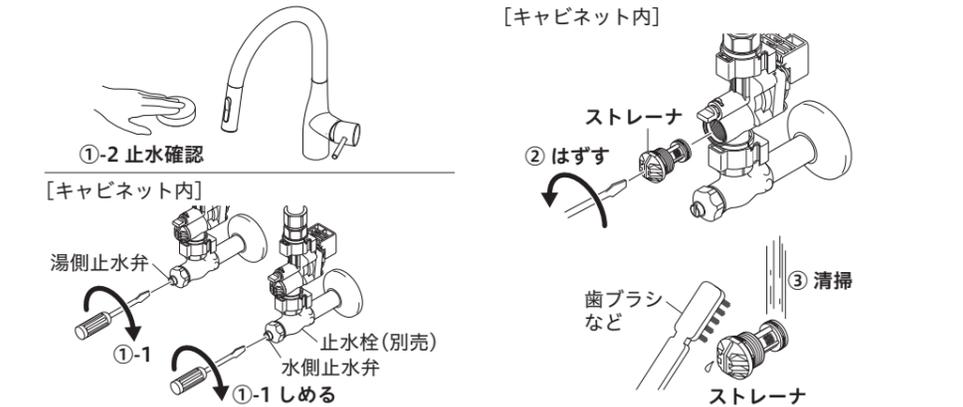
- ⑤ スイッチまたはレバーハンドル(ハンドル)で止水し、接続部から水漏れがないことを確認してください。

6-3 ストレーナ清掃のお願い

電磁弁ユニットのストレーナにゴミなどがつまると、吐水量が少なくなる場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

警告 ・ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。
ストレーナをいきなりはずしますと高温の湯が噴き出してやけどをしたり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
・湯側電磁弁ユニットのストレーナをはずす際、高温の湯が出る場合がありますので、やけどをしないように注意してください。

- ① 湯水の止水弁(2か所)または元栓をしっかりしめ、レバーハンドル(またはハンドル)を開いてスイッチを押し、湯水が出ないことを確認します。
- ② ストレーナを反時計回りに回し、取りはずします。
- ③ ゴミ・水アカ等を洗い流します。

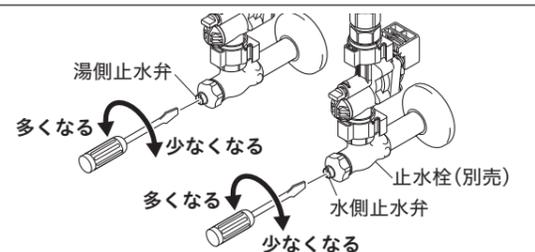


清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

注意 ストレーナは過剰に締め込み過ぎないでください。また、締め込みに電動工具を使用しないでください。破損して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

6-4 止水弁による流量の調節方法

流量が多すぎる場合などは、止水弁を操作して流量を調節してください。時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量となります。※水栓により、適量となる流量が異なります。お使いになる水栓の取扱説明書をご確認いただき、適量に調節してください。



注意 全ての施工が完了した後、必ずレバーハンドル(またはハンドル)を閉じてください。漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●お客様がすぐ使用しない場合は、必ず制御ボックスとスイッチから電池を抜き、お客様へお渡しください。ACアダプター(別売)をご使用の場合は、必ずコンセントからACアダプターを抜いてください。

7 故障かなと思ったら…

次のような現象は故障ではありません。修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ	
止水しない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	18ページ 「流量の調節方法」	
	レバーハンドル(またはハンドル)は開いていますか	レバーハンドル(またはハンドル)を開ける	水栓本体の取扱説明書	
	乾電池は制御ボックスに正しく取り付けられていますか	乾電池を正しく取り付ける	13ページ 「電池の取り付け」	
	コイン電池はスイッチに正しく取り付けられていますか	コイン電池を正しく取り付ける	13ページ 「電池の取り付け」	
	コネクターは確実に接続されていますか	コネクターを確実に接続する	12ページ 「コネクターの接続」	
	断水中ではありませんか	回復するまで待つ	—	
	電池切れではありませんか	電池を交換する	取扱説明書16～17ページ 「電池の交換方法」	
	スイッチはペアリングしてありますか	スイッチをペアリングする	取扱説明書15ページ 「スイッチのペアリング」	
	スイッチのペアリングが解除されていませんか	スイッチをペアリングする	取扱説明書15ページ 「スイッチのペアリング」	
	スイッチを遠くに設置していませんか	スイッチを制御ボックスの半径3m以内に設置する	—	
吐水しない	スイッチと制御ボックスの間に電波を通しにくい障害物はありませんか	障害物を取り除くか取り除けない場合はスイッチを移動する	—	
	ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	18ページ 「ストレーナ清掃のお願い」	
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか	該当する機器を遠ざける	—	
	【ACアダプター(別売)をお使いの場合】			
	ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか	ACアダプターを差し込む	15ページ 「ACアダプター(別売)を使用する場合」	
	【ACアダプター(別売)をお使いの場合】			
	停電中ではありませんか	回復するまで待つ	—	
	吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	18ページ 「流量の調節方法」
		ストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	18ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
		ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切換式のものでは適正能力にセットされていますか	ガス給湯器の能力を適正能力にセットする	—

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ
止水しない	電磁弁ユニットの手动弁が右側に回っていませんか	手动弁を左側いっぱいまで回す	取扱説明書14ページ 「電池切れ・停電および故障時の応急処置」
	電池切れではありませんか	電池を交換する	取扱説明書16～17ページ 「電池の交換方法」
	スイッチを遠くに設置していませんか	スイッチを制御ボックスの半径3m以内に設置する	—
	スイッチと制御ボックスの間に電波を通しにくい障害物はありませんか	障害物を取り除くか取り除けない場合はスイッチを移動する	—
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか	該当する機器を遠ざける	—
	高温しが出ない	水側止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける
水側電磁弁ユニットのストレーナにゴミ等がつまっていますか		ストレーナを清掃する	18ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
湯側止水弁は十分に開いていますか		止水弁を開ける	18ページ 「流量の調節方法」
低温しが出ない	水側電磁弁ユニットのストレーナにゴミ等がつまっていますか	ストレーナを清掃する	18ページ 「ストレーナ清掃のお願い」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	18ページ 「流量の調節方法」
	給湯機から十分な湯がきていますか	給湯器の設定温度・作動を確認する	—
ラジオ等の通信機器にノイズが入る	水栓の近くに置いていませんか	通信機器を水栓から遠ざける	—
止水時に水撃音が鳴る	湯側・水側の止水弁は調節されていますか	止水弁で流量を調節する	18ページ 「流量の調節方法」
スイッチの操作時に音が鳴る	電池切れではありませんか	電池を交換する	取扱説明書16～17ページ 「電池の交換方法」

●以上の確認を行っていただいても問題が解決されない場合は、レバーハンドル(またはハンドル)または止水栓をしめてください。
ACアダプター(別売)をご使用の場合は、コンセントからACアダプターを抜いてください。

水栓本体内部のメンテナンスをする場合

注意 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。